maxell

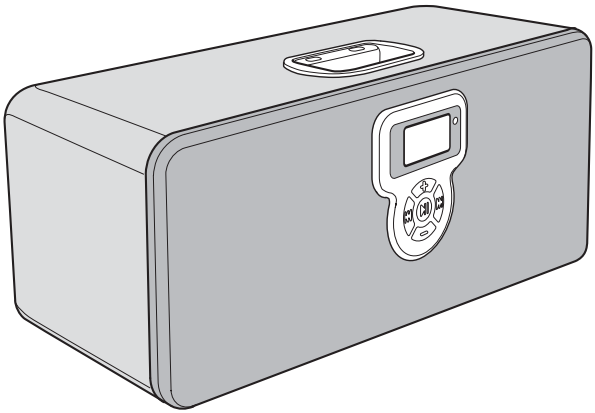
Made for iPod

Hi-Fi スピーカー for iPod

MXSP-2000

取扱説明書 **保証書付**

Ver. 1.0



このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。
また、この取扱説明書（保証書を含みます）は大切に保管してください。

S03M0703A11

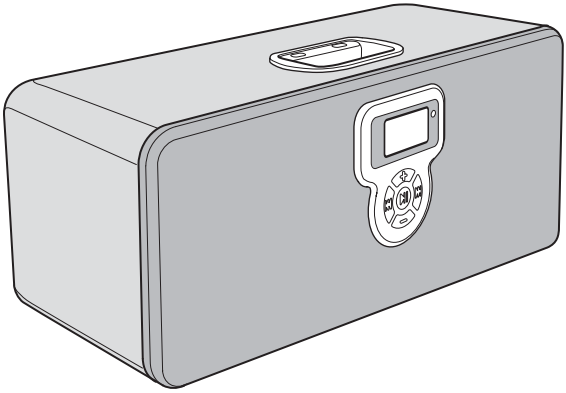
目 次

1. 梱包品の確認 ……3ページ
2. はじめに……4ページ
3. 安全上のご注意……5ページ
4. 本製品の特長……9ページ
5. 各部の名称 ……10ページ
6. 接続する ……12ページ
7. 音楽を聞く
    7-1. iPodの場合 ……13ページ
    7-2. iPod以外のオーディオプレーヤー ……14ページ
8. iPod内の動画をTV(モニター)で見る ……15ページ
9. ラジオを聞く
    9-1. ラジオを聞く準備 ……16ページ
    9-2. AMラジオを聞く……16ページ
    9-3. FMラジオを聞く ……17ページ
10. 時計、タイマー機能の設定
    10-1. 時刻の設定 ……18ページ
    10-2. スリープタイマー設定 ……18ページ
    10-3. アラームモード設定 ……18ページ
    10-4. 自動電源オフモード時間設定 ……19ページ
    10-5. アラームモードの選択とアラームのON/OFF ……19ページ
11. トラブルシューティング……20ページ
12. 製品仕様……21ページ
13. 保証とアフターサービス……22ページ
巻末 製品保証書

1. 梱包品の確認

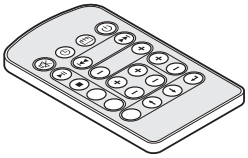
■パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには、下記のものが入っています。お使いになる前に、必ず内容をご確認ください。不足品や破損品などがありましたら、すぐにお買い求めの販売店または弊社のお客様ご相談センターまでご連絡ください。

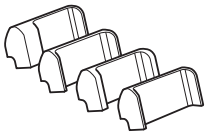


本体 × 1台

取扱説明書（保証書兼）
× 1部

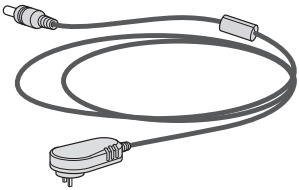


赤外線リモコン
（CR2025×1個入り）
× 1個

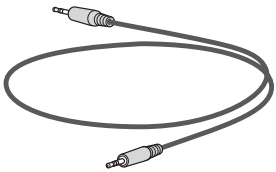


iPod Dockアダプター
× 4個（4種類各1個）

AMループアンテナ（85cm）
× 1個
AMループアンテナ台座
× 1個



ＡＣアダプター × 1個



φ3.5mmステレオミニプラグ
ケーブル（150cm） × 1本

ビデオケーブル
（120cm） × 1本

2. はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。
  また無断転載は固くお断りします。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

3. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

表示の説明

⚠ **危険**	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
⚠ **警告**	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
⚠ **注意**	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性または物的損害*3が発生する可能性があること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものを示します。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。
＊3：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・愛玩動物にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例	△	△記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	⃠	⃠記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	●	●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

⚠ 警告

● 水にぬらさないでください。
風呂場、台所、海岸、水辺、屋外では使用しないでください。また加湿器を過度に効かせた部屋や、雨・雪・水がかかる場所での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因になる恐れがあります。

● 修理や改造、または分解しないでください。
火災、感電、またはけがをする恐れがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。

● 異常時は電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本機器を落下させた場合はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になる恐れがあります。

● 痛んだ電源コードは使用しないでください。
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったりしないでください。また重いものをのせたり、本体の下敷きにならないようにしてください。芯線が露出したり断線した場合は、必ず新品のコードに交換してください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になる恐れがあります。

3. 安全上のご注意

⚠ 警告

- 誤った方法で設置・使用しないでください。
  ・本機をさかさまにしたり、風通しの悪い場所で使用したりしないでください。
  ・通気性の悪い場所へ押し込めないでください、

- 雷が鳴り出したら使用しないでください。
  感電の原因になる恐れがあります。

- 指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
  本機の指定電源電圧は交流100～240ボルトです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。感電・火災の原因になる恐れがあります。

- 本機の落下時、破損時には必ず販売店に点検を依頼してください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因になる恐れがあります。

- 電源プラグにホコリがつかないようにしてください。
  電気の火花がホコリに引火し、火災の原因になる恐れがあります。定期的にごみやホコリを取り除いてください。

- 電源プラグは目に見える位置で、手が届きやすいコンセントに差し込んでください。
  万一の際、すぐに電源プラグを引き抜けるようにしてください。

- 本機の上にものを置かないでください。
  本機の上に花びんや植木鉢、化粧品や薬品、飲料水などが入った容器、ろうそく、及び小さな貴金属やプラスチック、木片などを置かないでください。水や異物の混入は感電・火災の原因になるほか、接触面の外装を破損するおそれがあります。

- 濡れたれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

- 不安定な場所へ置かないでください。
  ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落ちたり倒れたりして怪我の原因になる恐れがあります。

- 直射日光があたる場所や、異常に温度が高くなるところへ置かないでください。
  機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

- 薬物を使用しないでください。
  ベンジン、シンナー、合成洗剤などで外装を拭かないでください。また接点復活剤を使用しないでください。外装が劣化するほか、部品が溶解する恐れがあります。

⚠ 注意

- 湿気やほこりの多い場所へ置かないでください。
  加湿器のそばや調理台のちかく、その他ほこりの多い場所に設置しないでください。ショートを招き、火災・感電の原因となる恐れがあります。

- お手入れの際、長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  安全のため、電源スイッチを切り電電プラグをコンセントから抜いてください。

- ACアダプターを布やカバーで覆わないでください。
  熱がこもり、ケースが変形し、火災・感電の原因となる恐れがあります。

- 専用のACアダプター以外を使用しないでください。
  火災・感電の原因となる恐れがあります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
  差し込みが不十分のまま使用すると、感電やホコリの堆積による火災の原因となる恐れがあります。

- ゆるみのあるコンセントは使用しないでください。
  電源プラグを差し込んだ時、ゆるみがあるコンセントは使用しないでください。火災・感電の原因となる恐れがあります。

- 外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。
  本機及び、各機器の取り扱い説明書をよく読み、電源を切ったうえで接続してください。

- 環境気温の急激な変化で、本機に結露が発生する場合があります。
  正常に作動しない場合は、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

- 電源コードを引っ張らないでください。
  コードが傷つき、感電・火災の原因となる場合があります。引き抜く場合にはプラグ部分を持って行ってください。

- 長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。
  スピーカーが発熱し火災の原因になる恐れがあります。

- 近くにブラウン管を置かないでください。
  色むらがおきる場合があります。

- 不法投棄をしないでください。
  製品や、電池を廃棄する際は、お住まいの地域の自治体が定めた方法で廃棄してください。

- 音量に気をつけてください。
  本機で音楽や、ラジオをお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。

3. 安全上のご注意

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危 険

電池が液漏れしたとき

液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警 告

機器の表示に合わせ、＋と－を正しく入れてください。

- **電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合はすぐ医師に相談してください。**
- **充電しないでください。**
- **火、水の中に入れないでください。**
- **分解、加熱しないでください。**
- **コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しないでください。**
- **液漏れした電池は使わないでください。**
- **使いきった電池は取り外してください。長期間使用しないときも取り外してください。**
- **指定された電池以外は使用しないでください。**
- **電池を保管する場合や廃棄する場合はテープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のもの混ざると、漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。**

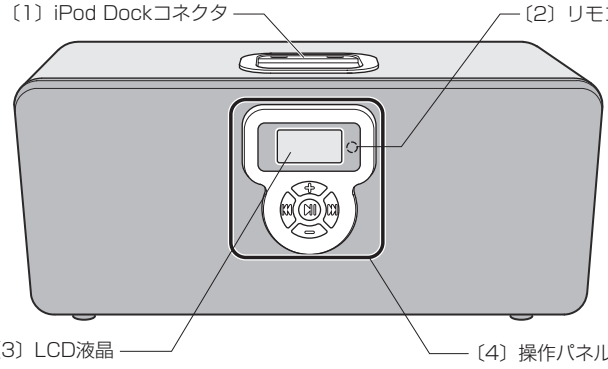
4. 本製品の特長

- お手持ちのオーディオ機器に接続して使用できる2WayのHi-Fiスピーカーです。
- iPodモード、Line-inモード、AMラジオモード、FMラジオモードの4つのモードを備えています。
- iPod専用のDockコネクタを装備しており、付属のリモコンでiPodの操作と充電、音質の設定ができます。
- iPod Video(第5世代のみ)でiPodの中にある動画をビデオ出力することができます。
- AM、FMラジオを聞くことができます。
- 液晶時計が付いており、スリープタイマー、アラーム、自動電源OFFを設定することができます。
- 10W＋10Wのハイパワー出力を持つパワーアンプと高音用、低音用の2Wayのスピーカーを備えています。

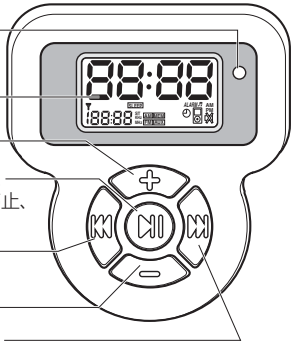
iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

5. 各部の名称

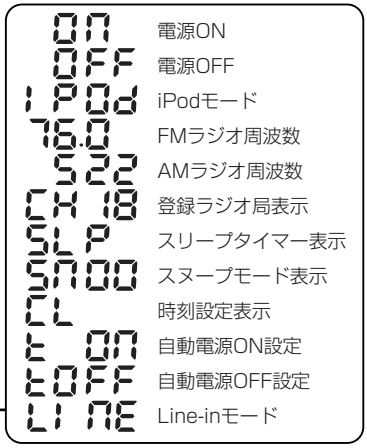
＜本体前面＞



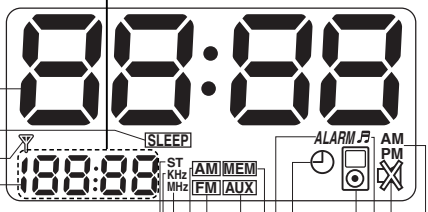
＜操作パネル＞



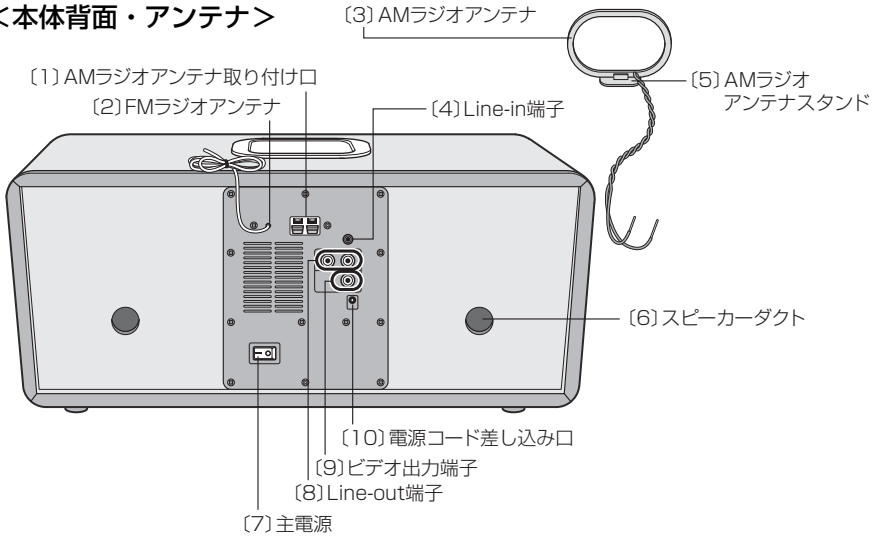
＜液晶画面：ファンクションモード＞



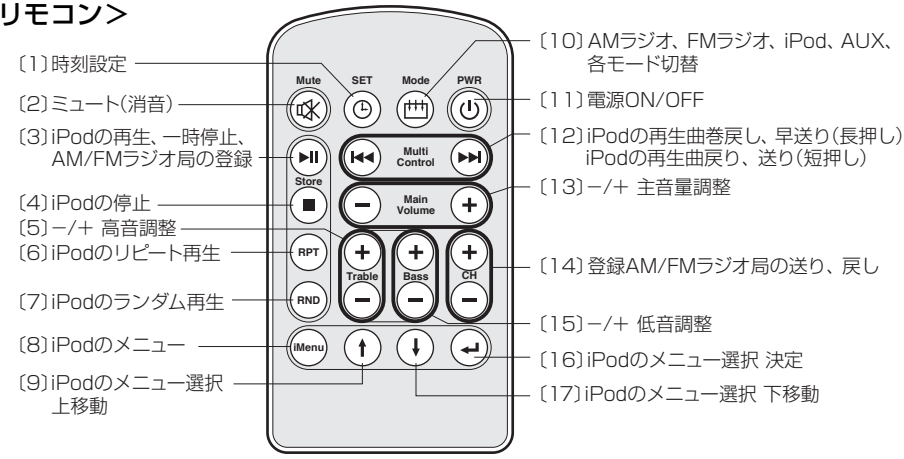
＜液晶画面＞



＜本体背面・アンテナ＞



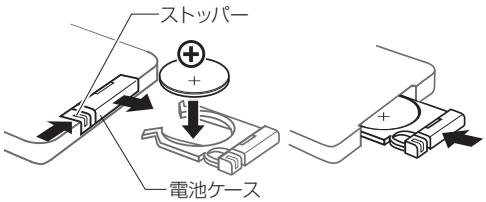
＜リモコン＞



赤外線リモコン用電池交換

1. ストッパーを矢印の方向に押しながら電池ケースを引き出します。

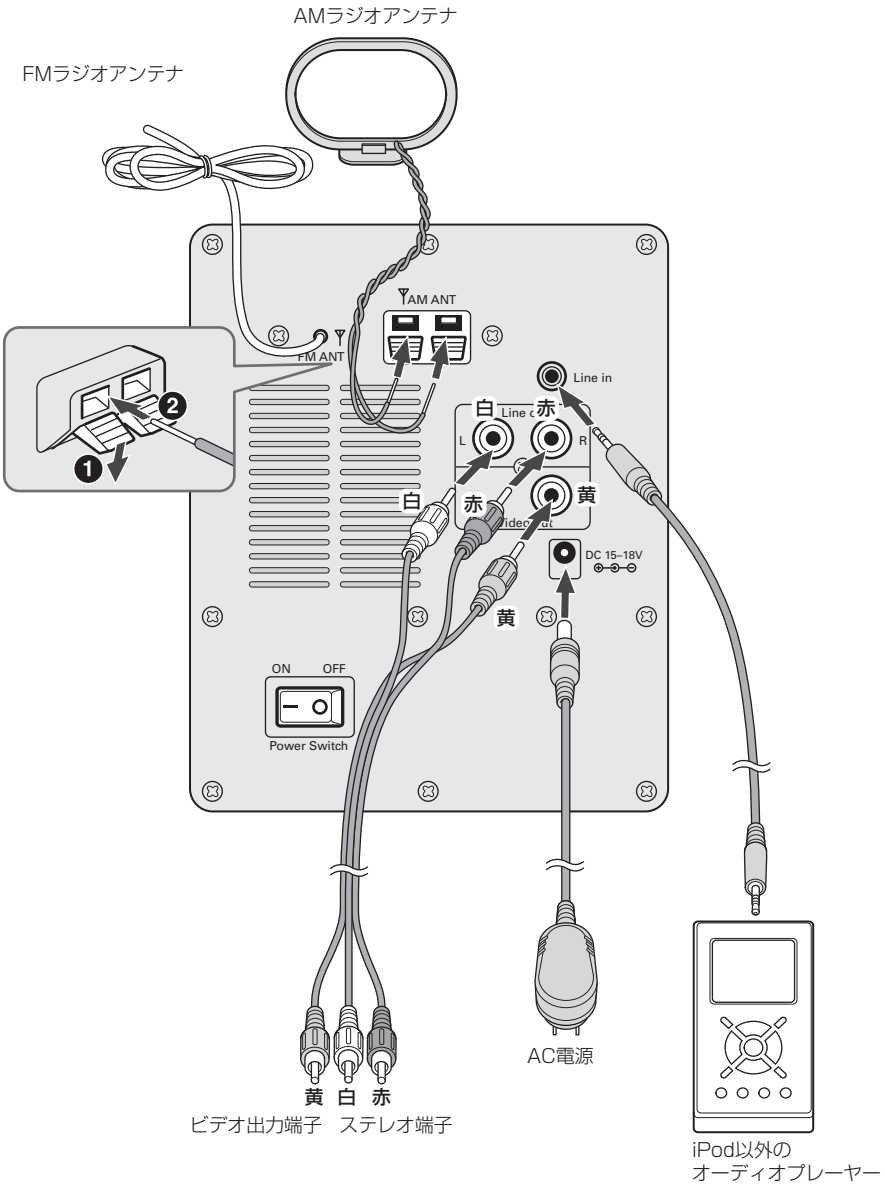
2. 「+」側を上にして電池(CR2025)を電池ケースに入れてリモコンに差し込みます。



※電池交換の際は、マクセル リチウムコイン電池(CR2025)をご使用ください。
電池ケースを開ける際は手、指、爪を怪我しないように十分に注意してください。

6. 接続する

＜接続方法＞


AMラジオアンテナ
FMラジオアンテナ
AM ANT
FM ANT
Line in
白
赤
黄
L
R
DC 15–18V
ON
OFF
Power Switch
黄 白 赤
ビデオ出力端子 ステレオ端子
AC電源
iPod以外の
オーディオプレーヤー

7. 音楽を聞く

7-1. iPodの場合

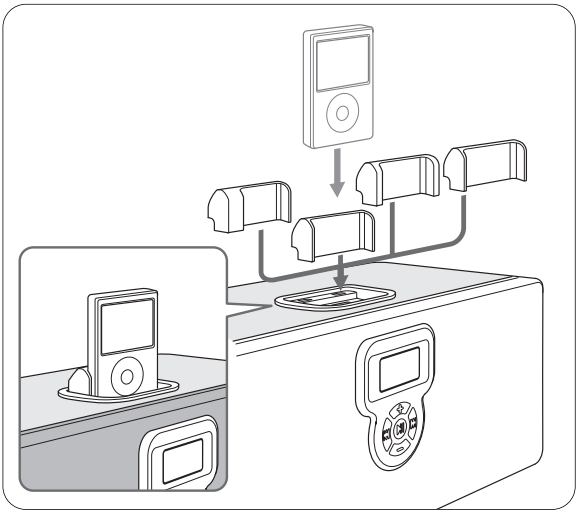
1. iPodを取り付ける準備。

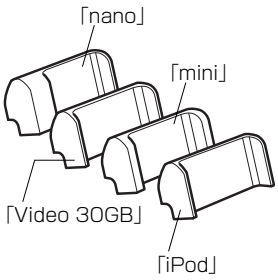
お手持ちのiPodに対応するDockアダプターを対応表から選んでください。

Dockアダプター対応表　（07年06月現在）

iPodの世代	対応Dockアダプター表記
・iPod 第4世代、第5世代（30GBモデルを除く）	「iPod」
・iPod 第4世代（30GB）	「Video 30GB」
・iPod nano第1世代、iPod nano 第2世代	「nano」
・iPod mini	「mini」

次にDockアダプターをDockコネクタ部の溝に、図のように差し込みます。





2. iPodを接続する。

お手持ちのiPodを、対応するDockアダプターを介してDockコネクタに接続してください。

3. iPodの音楽を再生する。

リモコンの［Mode］ボタンを押す、または本体前面パネルの［再生］ボタンの長押しを繰り返して「iPodモード」`iPod` に設定してください。「IPodモード」`iPod` になると本体の液晶パネルに「iPodアイコン」が表示されます。

リモコンの［再生］ボタン、もしくは本体前面パネルの［再生］ボタンを押して、iPodの音楽を再生してください。

7. 音楽を聞く

7-2. iPod以外のオーディオプレーヤーの場合

1. 本体背面にある「Line-in端子」と、再生したいオーディオプレーヤーのステレオミニジャックを、付属のφ3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続してください。

2. リモコンの [Mode] ボタンを押す、または本体前面パネルの [再生] ボタンの長押しを繰り返して「Line-inモード」 LI NE に設定してください。「Line-inモード」 LI NE になると本体の液晶パネルに「Line-inアイコン」 AUX が表示されます。オーディオプレーヤーの再生ボタンを押して、音楽を再生してください。

8. iPod内の動画をTV（モニター）で見る

（iPod第5世代のみ。07年06月現在）

1. iPodを取り付ける準備

iPod本体メニューのビデオ設定で「TV出力」を「ON」にし、「TVの信号」を「NTSC」に設定してください。

また、お使いのテレビがワイド画面タイプの場合は「ワイドスクリーン」を「ON」にしてください。

本体背面にある「Video-Out端子」（黄色）および「Line-Out端子L·R」（白·赤）に付属のビデオケーブルを繋ぎ、TV（モニター）側の「外部映像入力端子」（黄）と「外部音声入力端子」（白·赤）にも同じ色同士で接続してください。

2. iPod内の動画を外部出力する

お手持ちのiPodに対応するDockアダプターを対応表（P13参照）から選び、Dockアダプターを介してiPodと接続してください。

リモコンの［Mode］ボタンを押す、または本体前面パネルの［再生］ボタンの長押しを繰り返して、「iPodモード」 iPod に設定してください。「iPodモード」 iPod になると本体の液晶パネルに「iPodアイコン」が表示されます。

リモコンの［再生］ボタン、もしくは本体全面パネルの［再生］ボタンを押してiPodの動画を再生してください。

9. ラジオを聞く

9-1. ラジオを聞く準備

1. AMラジオループアンテナとAMループアンテナ台座を組み立て、AMラジオループアンテナのケーブルを、本体背面にある「AMアンテナ取り付け口」(P12参照)に接続します。

2. 1. で取り付けたAMラジオアンテナおよびFMラジオアンテナを電波状況の良いところへ設置します。

9-2. AMラジオを聞く

1. リモコンの [Mode] ボタンを押す、または本体前面パネルの [再生] ボタンの長押しを繰り返し、「AMラジオモード」に設定してください。「AMラジオモード」になると本体の液晶パネルに「AMラジオアイコン」 AM とAM、FMラジオ受信アイコン が表示されます。

2. お聞きになりたい放送局の周波数に設定します。リモコンまたは本体の [巻戻し] [早送り] ボタンを押して、お聞きになりたい放送局の周波数に設定してください。

3. お気に入りの放送局を登録できます。登録したい放送局の周波数にあわせ、リモコンの[再生] または本体前面パネルの[再生] ボタンを押すと画面に CH0 の表示が点滅しますので、リモコンまたは本体の[巻戻し] [早送り] ボタンを押し、登録したいCH番号を選択してください。登録は、20件まで保存できます。

9-3. FMラジオを聞く

1. リモコンの [Mode] ボタンを押す、または本体前面パネルの [再生] ボタンの長押しを繰り返し、「FMラジオモード」に設定してください。「FMラジオモード」になると本体の液晶パネルに「FMラジオアイコン」 **FM** とAM、FMラジオ受信アイコン が表示されます。

2. お聞きになりたい放送局の周波数に設定します。リモコンまたは本体の [巻戻し] [早送り] ボタンを押して、お聞きになりたい放送局の周波数に設定してください。

3. お気に入りの放送局を本体に登録する時は、登録したい放送局の周波数にあわせた状態で、リモコンの [再生] ボタンまたは本体全面パネルの [再生] ボタンを押すと、画面に CH0 の表示が点滅します。リモコンのCH＋－ボタンまたは、本体の ボタンを押して登録したいCH番号に合わせ、最後にリモコンまたは本体の [再生] ボタンを押し、登録を行ってください。
登録されたチャンネルは、リモコンのCH＋－ボタンで呼び出すことができます。

10. 時計、タイマー機能の設定

時計・タイマー機能の設定には付属のリモコンを使用します。

リモコンの［SET］ ⏲ボタンを押すごとに、以下の順で設定項目が変化していきます。

スリープモード設定 ➡ 時刻表示 12時間/24時間表示 設定 ➡ 時間設定 ➡
分設定 ➡ アラームモード 時間設定 ➡ アラームモード 分設定 ➡
自動電源オフモード 時間設定 ➡ 自動電源オフ 分設定 ➡ 標準画面

10-1. 時刻の設定

1. リモコンの［SET］⏲ボタンを押していき、「時刻表示 12時間/24時間表示設定」 CL 画面にして、リモコンの［巻戻し］［早送り］⏮⏭ボタンを押して、時刻表示を「12時間表示」または「24時間表示」に選択し設定します。

2. 再度、リモコンの［SET］⏲ボタンを押し、「時間設定」「分設定」で時刻を、リモコンの［巻戻し］［早送り］⏮⏭ボタンで設定します。

3. 時刻が設定できたら、リモコンの［SET］⏲ボタンを押していき「標準画面」に戻すか、設定後そのまま待機していただくと標準画面に戻ります。

10-2. スリープタイマー設定

1. リモコンの［SET］⏲ボタンを押し「スリープモード設定」 SLP 画面を表示します。

2. スリープモードでリモコンの［巻戻し］［早送り］ボタンを押していくと、電源OFFになるまでの分数が、00 ⇒ 30 ⇒ 60 ⇒ 90 ⇒ 120の順で表示されます。リモコンの［巻戻し］［早送り］⏮⏭ボタンで希望の分数を選び、［SET］⏲ボタンを標準画面が表示されるまで押してください。

3. 設定した時間が経過すると、自動的に電源がOFFになります。

10-3. アラームモード設定

1. リモコンの［SET］⏲ボタンを押していき「アラームモード 時間設定」を表示させ、［巻戻し］［早送り］⏮⏭ボタンで時間を設定します。

2. 再度、リモコンの[SET] ⏲ ボタンを押していき「アラームモード 分設定」を表示させ、[巻戻し] [早送り] ⏮⏭ ボタンで分を設定します。

3. 時刻が設定できたら、リモコンの[SET] ⏲ボタンを押していき「標準画面」に戻すか、設定後そのまま待機していただくと標準画面に戻ります。

4. 設定した時刻になると、電源がOFFでも毎日その時刻に自動的に電源がONになり「アラーム音」が鳴ります。

5. アラーム音が鳴ったら、リモコンの[PWR] ⏻ボタンか本体前面パネルの[再生] ⏯ ボタンを押すと、アラーム音が止まります。スヌーズモードにするには、その他のボタンを押すとスヌーズモードになり、液晶に SNOO と表示されます。5分おきにアラーム音が鳴るようになりますので、アラーム音を止める時はリモコンの[PWR] ⏻ ボタンか本体前面パネルの[再生] ⏯ボタンを押してください。

10-4. 自動電源オフモード 時間設定

1. リモコンの[SET] ⏲ボタンを押していき「自動電源オフモード 時間設定」 tOFF を表示させ、[巻戻し] [早送り] ⏮⏭ ボタンで時間を設定します。

2. 再度、リモコンの[SET] ⏲ ボタンを押していき「自動電源オフモード 分設定」を表示させ、[巻戻し] [早送り] ⏮⏭ ボタンで分を設定します。

3. 時刻が設定できたら、リモコンの[SET] ⏲ボタンを押していき「標準画面」に戻すか、設定後そのまま待機していただくと標準画面に戻ります。

4. 設定した時刻になると、毎日その時刻に、自動的に電源がOFFになります。

10-5. アラームモードの選択とON/OFF

1. リモコンの[SET] ⏲ボタンを長押しすると、本体の液晶パネルに[ALARM] ***ALARM*** と ♬ が表示されます。この場合、10-3.で設定した時刻に接続しているiPodの音楽が流れ出します。iPodが接続されていない場合は、本体の電源のみONになります。

2. 再度リモコンの [SET] ⏲ボタンを長押しすると、[ALARM] ***ALARM*** が表示され ♬ が消えます。この場合、10-3.で設定した時刻にアラームが鳴ります。

3. もう一度リモコンの [SET] ⏲ボタンを長押しすると、***ALARM*** と ♬ 両方のマーク表示が消えます。この場合、アラームはOFFとなります。

11. トラブルシューティング

症 状	対 策
電源が入らない	・ACアダプターの接続を確認してください。 ・本体背面の主電源スイッチがONになっているか確認してください。
iPodがDockコネクタに接続できない	・お手持ちのiPodの世代を確認してください。 （対応表P13参照 ） ・Dockアダプターの対応を確認してください。 （対応表P13参照） ・iPodにカバーやケースがついている場合は外してください。
音が出ない （iPodの場合）	・音量が「ミュート」や「0」になっていないか確認してください。 ・iPodとコネクタの接続が甘くなっていないか確認してください。 ・「iPodモード」になっているか確認してください。
音が出ない （iPod以外のオーディオプレーヤーの場合）	・音量が「ミュート」や「0」になっていないか確認してください。 ・お使いのオーディオプレーヤーの音量が「ミュート」や「0」になっていないか確認してください。 ・本体背面の「Line-in」と、オーディオプレーヤーを繋ぐケーブルの接続が甘くなっていないか確認してください。 ・「Line-inモード」になっているか確認してください。
ラジオで音が出ない	・音量が「ミュート」や「0」になっていないか確認してください。 ・アンテナの接続を確認してください。 ・聞きたいラジオ局の周波数と、本体の受信周波数を確認してください。 ・近くに高周波や強電界を発生させる電子機器・家電製品等がないか確認してください。
タイマーが働かない	・画面の「タイマーアイコン」が表示されているか確認してください。
リモコンが利かない	・リモコンと本体との距離を確認してください。 ・電池が消耗していないか確認してください。

12. 製品詳細

製品仕様

型番	MXSP-2000	
形式	Hi-Fi スピーカー	
実用最大出力	10W + 10W	
LINE IN入力	入力感度 1300mV rms（1KHz、+0 / −20%） 入力インピーダンス 10Ω	
ラジオ受信周波数	FM	76.0 ～ 108.0MHz
	AM	522KHz ～ 1629KHz
スピーカー	75mm コーンスピーカー × 2 （低音用）	
	35mm コーンスピーカー × 2 （高音用）	
再生周波数特性	70Hz ～ 20KHz	
入力端子	DC IN （ACアダプター入力）	
	LINE IN （φ3.5mmステレオミニジャック）	
電源	DC 15V−18V	
ACアダプター	入力 AC100 ～ 240V、50−60Hz	
	出力 DC 15V / 1.6A	
外形寸法	幅385mm × 高さ180mm × 奥行148mm	
質量	約3.6kg（本体のみ）	
付属品	・ACアダプター ・赤外線リモコン（CR2025 × 1個入り） ・φ3.5mmステレオミニケーブル（150cm） ・ビデオケーブル（120cm） ・iPod Dockアダプター（4種類） ・AMループアンテナ（85cm） ・AMループアンテナ台座 ・取扱説明書（メーカー保証書付）	

13. 保証とアフターサービス

■ 保証書（裏表紙）に関して

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■ 本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセル株式会社　お客様ご相談センター
〒102-8521 東京都千代田区飯田橋2－18－2
TEL (03) 5213-3525　FAX (03) 3515-8261
受付：月曜日～金曜日まで（ただし祝祭日および当社休業日を除く）
9：30～12：00／13：00～17：30
ホームページ <http://www.maxell.co.jp/>

無料修理規程

1. 万一製造上の理由により本製品が故障した場合は、この保証書を添えてお買い上げ店にお届けください。正常なご使用状態で購入後1年以内であれば、当社にて無料で交換いたします。尚、お届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にご負担願います。
2. 保証期間内でも次のような場合には有料になります。
   1）ご依頼の際、保証書の添付がない場合。
   2）使用上の誤り（取扱説明書、取扱上の注意事項以外の誤操作など）により生じた故障。
   3）修理・改造・分解などによる故障。
   4）お取り扱い上の不注意（落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機器内部への水、砂、薬品の入り込みなど）、手入れの不備（カビ発生、ちり・ほこり等）による故障。
   5）本体以外の付属品及び消耗品。
   6）一般用途以外（例えば、業務用の著しい連続使用、船舶への搭載など）に起因する損傷。
   7）故障の原因が本製品以外（供給電源など他の機器）にあって、それを点検・修理した場合などの損傷。
   8）前記以外で当社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
3. 本製品の故障に起因する二次的な損害（期待した利益の喪失、精神的な損害など）の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
4. 保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立マクセル株式会社 お客様ご相談センターにお問い合わせください。
5. 本保証書は日本国内のみにおいてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.